

重さに身の引き締まる思いで

を実現できるよう、全力で職 安心・安全に暮らせる足立区 区民の皆様のご期待に応え、

務を全うする覚悟であります。

今後とも、区民の皆様のご

であるとともに、その責務の

就任いたしました。大変光栄

推挙により、議長、副議長に 臨時会において議員各位のご

会において十分に議論を深め、

報

告

このような課題も含め、議

私たちは、平成26年第1回

発行/足立区議会 ☎03(3880)5996(直通) http://www.gikai-adachi.jp №.



再生紙を使用しています

長に

せぬま

成26年第1回臨時会

の選任のほか、特別委員会委員 の辞任に伴い、 新たな委員を選

臨時会(会期1日)を開会しま

5月30日に、平成26年第1回

した。

議長・

副議長決まる

任しました。 副委員長の互選が行われました。 その後、各委員会で委員長・

が区長より求められ、

金沢美矢子議員の選任同意

議長の辞職に伴い、議長・副議

馬場信男議長、あかし幸子副

長選挙が行われ、議長にせぬま

しのは

議会選出監査委員選任に同意

ら守宏議員、きじまてるい議員 の監査委員退職に伴い、後任監 議会選出監査委員の、

議員がそれぞれ当選就任しまし 剛議員が、副議長に小泉ひろし

就任のあいさつ

新しい議会構成決まる ひろし 特別委員会の委員構成決まる 常任委員会・議会運営委員会・ 会委員及び議会運営委員会委員 議長の指名による、常任委員

れに同意しました。

後任農業委員として、 議員の農業委員の辞任に伴い、 員を推薦しました。 農業委員会委員を推薦 議会推薦農業委員、 高山延之 鈴木進議



副議長 小泉 ひろし 可決した区長提出議案 特別委員会の報告 (要旨を2面に掲載)

議 長 せぬま

剛

立区でも少子高齢化等、社会 ◇文書管理システム用パソコン

構造の変化により、行政の役 さらに、地域や家族の機能低 たな課題も生じています。 割に変化が求められており、 下、社会資本の老朽化等、 相手方 契約方法 契約内容 の購入について 契約金額

8千186万2千70円

東芝情報機器株式会社

首都圏支社

ノートパソコン 1千億台の購入 指名競争入札

区政並びに区議会に対しまし

区民の皆様には、平素より、

て、格別のご理解・ご支援を

厚くお礼を申し上げま

就任のごあいさつとさせてい 協力を心からお願い申し上げ、 140円) の決定

盤の整備が進み、人口は増加

いますが、足立区では社会基

昨今、人口減少が叫ばれて

させ、損害を与えた額 誤って駐車中の車に接触し破損 職員が手に持っていたごみ袋が 所において、ごみ収集作業中の ◇損害賠償額の決定 マンション敷地内のごみ集積

ほか4件

| 足立区議会委員会委員名簿 | | | | (平成 26 年5月 30 日現在) | |
|--------------|------------------|--|--------------|--|---|
| 委員会名 | | 委員氏名 (◎:委員長 ○:副委員長) 委員会名 | | 委員氏名 (◎:委員長 ○:副委員長) | |
| | 総務委員会(定数8名) | ◎ 渡辺 ひであき ○針 谷 みきお ○佐々木まさひこ 古 性 重 則 藤 沼 壮 次 岡 安 たかし 浅古 みつひさ おぐら 修 平 | | 交通網·都市基盤整備 調査特別委員会 (定数11名) | ○高山延之○くぼた美幸○浅古みつひさ白石正輝 伊藤和彦 くじらい 光治金沢美矢子 前野和男 鈴木あきらうすい 浩一 馬場信男 |
| 常任委 | (定数7名) | ◎ 渕 上隆 ○ たきがみ明 ○ 鹿 浜昭小 泉 ひろし吉 岡茂 ぬかが 和 子へんみ 圭 二 | 特別 | 子 ど も 施 策 調査特別委員会 | ② きじま てるい ○藤 沼 壮 次 ○浅 子 けい子 鈴 木 進 加 藤 和 明 さとう 純 子 |
| | 産業環境委員会 | ○ うすい 浩 一 ○ 鈴 木 あきら ○ 馬 場 信 男 鈴 木 進 くじらい 光治 金 沢 美矢子 はたの 昭 彦 | 委 員 会 | (定数11名) | たきがみ 明 あかし 幸 子 佐々木まさひこ 渡辺 ひであき 市 川 おさと ◎ 新 井 英 生 ○ はたの 昭 彦 ○ 長谷川 たかこ |
| 員会 | (定数8名) | せぬま 剛 浅子 けい子 きじま てるい | | 災害・オウム対策 調査特別委員会 (定数11名、欠員1名) | しのはら 守宏 小 泉 ひろし 鹿 浜 昭 長井 まさのり ぬかが 和 子 たがた 直 昭 た だ 太 郎 |
| A | 建設委員会(定数7名、欠員1名) | ○ たがた 直 昭 ○ 伊 藤 和 彦 ○ しのはら 守宏高 山 延 之 長井 まさのり 市 川 おさと | | 生活保護・ 高齢者生きがい対策 調査特別委員会 (定数11名) | ◎ 鈴木 けんいち ○鴨 下 稔 ○岡 安 たかし 古 性 重 則 針 谷 みきお 渕 上 隆 いいくら 昭二 吉 岡 茂 金 田 正 おぐら 修 平 へんみ 圭 二 |
| | 文教委員会 | ② 金 田 正 ○ さとう 純 子 ○ いいくら 昭二 鴫 下 稔 あかし 幸 子 新 井 英 牛 | | | 40 (9 |

議会運営委員会 (定数13名)

(定数8名)

◎古 性 重 則 ○吉 岡 茂 ○ 長井 まさのり 鈴 木 あきら 鹿 浜 針 谷 みきお 昭 うすい 浩 一 新井英生 岡 安 たかし ぬかが 和 子 たがた 直 昭 渡辺 ひであき 浅古 みつひさ

長谷川 たかこ

くぼた 美幸

「議員(候補者等を含む。)からの寄附は、公職選挙法により、 議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。」

たとえば、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の 行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等をすることが禁じられています。 また、個人に対して、お祝い金(入学・卒業等)・贈り物(お歳暮・お中元等) をすることも禁じられています。

なお、例外的に罰せられない行為として、議員本人が持参する結婚祝い・香典 があります。

区民の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

を行いました。 報告の要旨は次のとおりです

整備に関する調査研究を進めて 備及び誘致促進並びに都市基盤 交通網・都市基盤整 本特別委員会は、交通網の整 查特 別委 員 会備

都市交通施策について 今後も区総合交通計画に基づ

北綾瀬駅の整備について の解消を進める必要があります。 きバス事業者と協議を重ね、 公共交通空白地域 路

東京地下鉄株式会社と連携し、 一一歩を見守る必要があります。 今後、都心方面への直通運行 向け改良工事が行われますが

都市基盤整備について

竹ノ塚駅付近の鉄道高架化及び

確保に努めなければなりません。 業進捗に向けて補助金等の財源 すことに加え、着実・円滑な事 の協力を得て、早期完成を目指 鉄道事業者との連携、国や都



心で利便性の高いまちづくりを また、周辺環境への影響を考

縦貫線)の北千住駅停車につい 状況注視の必要があります。 に高めていく必要があります。 ともに、地域住民の機運もさら 関係機関への働きかけの継続と また、上野東京ライン(東北 地下鉄8号線区内延伸実現へ、 平成26年度末の開業に向け

周辺地区のまちづくりについて UR花畑団地再生事業の推進・

店等を踏まえ、UR都市機構や 業者への引渡し、商業施設の開 必要があります。 円滑な協議・調整を進めていく まちづくり協議会、事業者との て・高齢者支援施設等用地の事 店舗棟・住宅棟の建設、子育

を続けていく必要があります。 を推進しつつ、都市基盤の整備 ス路線網の誘致・拡充等の活動 **死実に向け、** 本特別委員会は、 引き続き調査研究 鉄道及びバ

ALCHA!

本特別委員会は、 查特 別も 「子どもの 会策

関すること等について調査研究 健全な成長」「子育て支援」に を進めてきました。

待機児童対策について

の情報発信の充実など、各地域 の保育需要に応じた対策が求め 認可保育園以外の保育サービス 解消や保育需要増大への対応策、 フルタイム就労世帯の待機児

とや、きめ細やかな情報提供が 残しました。今後も、 保育サービスの周知徹底と利用 られています。需要に即した保 待機児童解消に向けた重要課題 促進を図り、 った保育施設の整備を進めるこ 施設整備の到達率2.3%で課題も 対策を行うこととしましたが、 待機児童の保護者対象の様々な 育施設の整備を行うと同時に、 総合的な待機児童 目標に沿



子ども支援について

の実践結果を検証し、 援の充実が期待されます。 ブレム解消に向けたさらなる支 「あだち5歳児プログラム」 小1プロ

ていく必要があります。 童解消に向けた取り組みを進め 定員の定数弾力化など、待機児 需要を踏まえた施設整備や入室 学童保育室については、 地域

子育て支援の環境整備について

は赤ちゃん訪問事業、 子育てサロン事業、 こんにち あだち子

めた保護者に対する支援の一層 育て応援隊事業、あだちマイ保 育園事業などに加え、産前も含 の拡充が望まれます。

生まれ育つ環境が整備されるよ う、引き続き調査研究を進めて 来を担う子どもたちが健やかに 変更し、問題解決に向けた迅速 地区担当制から機能別担当制に かつ的確な対応が期待されます こども支援センターげんきは 本特別委員会は、足立区の未

特別 オウム 委員 対 会 策

研究を進めてきました。 策に関すること等について調査 ム真理教(アレフ)・放射線対 本特別委員会は、災害・オウ

災害対策について

用電子看板等の有効活用等につ 映した防災ひろばの整備、 えの改善、 拡充、防災行政無線の音のきこ いて提案がありました。 委員からは、災害時避難所の 地域の声を充分に反 災害

> め、必要な施策を継続・推進し 区民の安全・安心を実現するた

国等の動向を注視しながら、

等に反映させる必要があります 証・分析を行い、地域防災計画 からの意見聴取、 なる連携強化の必要があります 組み、防災・減災に向けたさら 自助・共助・公助一体の取り また、総合防災訓練参加者等 訓練結果の検

オウム(アレフ)対策について 報公開に努め、信者の増加防止 詳細な情報の把握及び早期の情 区側から積極的に働き掛け

断固反対」の姿勢を明確にし、 策を強化する必要があります。 対策強化を図る必要があります。 いては、勝訴に向け緻密な対応、 また、現在係争中の事件につ 今後とも「オウム(アレフ)

災害用電子看板

毅然とした姿勢で臨まなければ 区民・議員・区が一体となって なりません。

放射線対策について

安は払拭されたとは言い切れず、 の実施や、 量の情報公開の一方、区民の不 区の定めた指標値以上の数値を 測定器貸し出しや学校給食の放 確認した施設における低減対策 区施設の空間線量を測定し、

を重ね、引き続き調査研究を続 けていく必要があります。 本特別委員会は、さらに議論

対策等に関する調査研究を進め 適正実施及び高齢者の生きがい

生活保護制度について

を重ね、引き続き

調査研究を続

生活を保障するとともに、

実施協議会の答申 ック医薬品の弾力な するとともに、不可 活保護の適正実施

射性物質検査等についても、区 委員から要望されています。 積極的な区内放射線

ていく必要があります。

調 査 特 別 委 員 会生活保護・高齢者生きがい対策

てきました。 本特別委員会は、生活保護の

る一方、様々な課題が指摘され トとして必要不可欠な制度であ の助長を目的として運用されて います。最後のセーフティネッ し、健康で文化的な最低限度の この制度は、生活困窮者に対 自立

強化、かかりつけ医・ジェネリ 策及び生活保護費返還金徴収の 労による自立に向けたサポート 委員からは、区

渡辺ひであき

英生 昭

等の提案がありまれ の児童・生徒への学力支援対策 体制の強化、生活に 防止、ケースワー の充実による「貧品 した。 ク技術の向上 保護受給世帯 旳な活用、就

え、地域への丁寧な説明を継続 立支援センター足 策を求める提案もされました。 に伴う低所得者支援の全庁的対 していく必要があり による基準生活費の 平成26年3月に開設された自 また、生活保護 運営状況の詳細 ります。 細な把握に加 立寮について の減額とそれ 質の基準改正

幹事長

鈴木 あきら

孤立ゼロプロジェクトについて

意見や要望がありました。 員へのフォロー体制 管理の徹底、絆のあんしん協力 会・自治会の拡大や、個人情報 高齢者実態調査 制について、 を実施する町

の創設や地域包括 行いました。 の具現化について また、高齢者の生きがい就労 本特別委員会は ケアシステム さらに議論 調査研究を

けていく必要があ ります。

止受給防止対 をさらに推進 を踏まえ、生 生活保護適正 足立区議会自由民主党 幹事長

副幹事長

足立区議会公明党 副幹事長 幹事長 うすい 長井まさのり たがた 直昭 くぼた 美幸

日本共産党足立区議団

足立区議会民主党 幹事長 寸 副幹事長 長 ぬかが 和子 針谷 みきお さとう

足立区議会みんな・無所属 副幹事長 おぐら 修平

※4月24日付けで「足立区議会み な・無所属」に会派名称を変更 幹事長 んなの党」は「足立区議会みん しました。 浅古みつひさ

編集後記

なりました。 報委員会は次のとおりの構成と 各会派役員の変更に伴い、広

よろしくお願いいたします。 面づくりに努めて参りますので、 (議 (議会運営委員長) 読みやすく、分かりやすい紙 議 長) 古性 小泉 ひろし せぬま 重則

新井 うすい たがた 渡辺ひであき 英生 鈴木 あきら ぬかが 和子 浅古みつひさ 針谷 みきお 長井まさのり